

# グローバルCBファンド・南アフリカランドコース (毎月分配型)

追加型投信／内外／債券

## 交付運用報告書

(作成対象期間 2017年12月12日～2018年6月11日)

第73期(決算日 2018年1月10日) 第76期(決算日 2018年4月10日)  
第74期(決算日 2018年2月13日) 第77期(決算日 2018年5月10日)  
第75期(決算日 2018年3月12日) 第78期(決算日 2018年6月11日)

当作成期末	
基準価額	9,643円
純資産総額	19百万円
騰落率	7.3%
分配金合計	600円

(注1)以下本書において、基準価額及び分配金は1万口当たりで表記しています。

(注2)騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。さて、当ファンドは、このたび、上記の決算を行いました。

当ファンドは、主として、日本や新興国を含む世界の企業が発行する転換社債(CB)等に投資しました。また、米ドル売り、南アフリカランド買いの為替取引を行いました。ここに期間中の運用状況についてご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

### お問い合わせ先

フリーダイヤル:0120-668001

(受付時間は営業日の午前9時～午後5時です。)

PCサイト <http://www.smtam.jp/>

スマートフォンサイト <http://s.smtam.jp/>

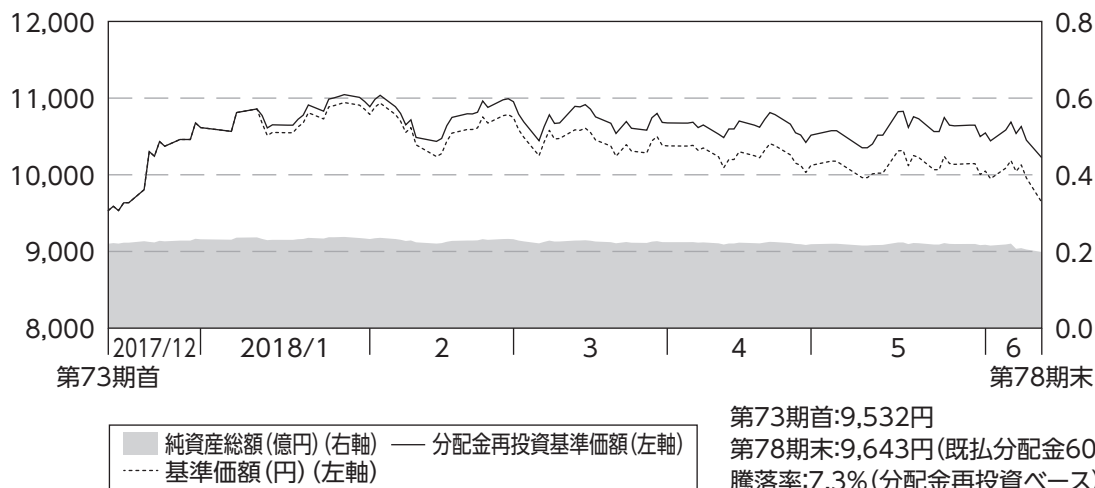
三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社

〒105-8574 東京都港区芝三丁目33番1号

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供することを定めております。上記PCサイトにアクセスし、「ファンドを検索する」等から、当ファンドのページを表示させることにより、運用報告書(全体版)を閲覧及びダウンロードすることができます。なお、ご請求いただいた場合には交付いたしますので、販売会社までお問い合わせください。

## 運用経過の説明

### 1 基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、2017年12月11日の値を基準価額に合わせて指数化しています。

### 2 基準価額の主な変動要因

当ファンドの主な投資対象である「SMTグローバルCBファンドー南アフリカランドクラス」の基準価額(分配金再投資ベース)が上昇したことから、当ファンドの基準価額(分配金再投資ベース)も上昇しました。

組入ファンド	投資資産	当作成対象期間末 組入比率	騰落率
SMT グローバルCBファンドー南アフリカランドクラス	世界のCB等	98.8%	7.9%
短期金融資産 マザーファンド	短期金融資産等	0.1%	△0.0%

## 運用経過の説明

### 3 1万口当たりの費用明細

項目	当作成期		項目の概要
	(2017年12月12日～2018年6月11日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	54円	0.517%	(a) 信託報酬 = [期中の平均基準価額] × 信託報酬率 期中の平均基準価額は10,449円です。 信託報酬に係る消費税は当(作成)期末の税率を採用しています。 委託した資金の運用、基準価額の計算、開示資料作成等の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(投信会社)	(17)	(0.162)	
(販売会社)	(35)	(0.339)	
(受託会社)	(2)	(0.016)	
(b) 売買委託手数料	—	—	(b) 売買委託手数料 = $\frac{[期中の売買委託手数料]}{[期中の平均受益権口数]} \times 10,000$ 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株式)	(—)	(—)	
(新株予約権証券)	(—)	(—)	
(オプション証券等)	(—)	(—)	
(新株予約権付社債(転換社債))	(—)	(—)	
(投資信託証券)	(—)	(—)	
(商品)	(—)	(—)	
(先物・オプション)	(—)	(—)	
(c) 有価証券取引税	—	—	(c) 有価証券取引税 = $\frac{[期中の有価証券取引税]}{[期中の平均受益権口数]} \times 10,000$ 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(—)	(—)	
(新株予約権証券)	(—)	(—)	
(オプション証券等)	(—)	(—)	
(新株予約権付社債(転換社債))	(—)	(—)	
(公社債)	(—)	(—)	
(投資信託証券)	(—)	(—)	
(d) その他費用	0	0.002	(d) その他費用 = $\frac{[期中のその他費用]}{[期中の平均受益権口数]} \times 10,000$ 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、金銭信託預入に係る手数料等
(保管費用)	(—)	(—)	
(監査費用)	(0)	(0.002)	
(その他)	(0)	(0.000)	
合計	54	0.519	

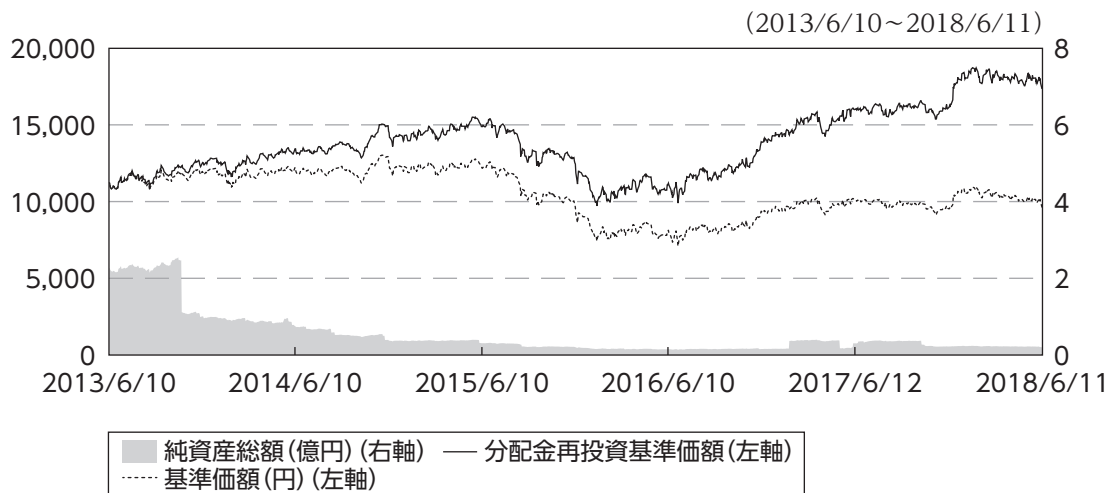
(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。  
なお、売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません(マザーファンドを除く)。当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入ファンドの概要」に表示しております。

4 最近5年間の基準価額等の推移



(注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものと計算しております。

(注2) 分配金再投資基準価額は、2013年6月10日の値を基準価額に合わせて指数化しています。

	2013年6月10日 決算日	2014年6月10日 決算日	2015年6月10日 決算日	2016年6月10日 決算日	2017年6月12日 決算日	2018年6月11日 決算日
基準価額 (円)	11,254	12,135	12,182	7,948	10,073	9,643
期間分配金合計(税引前) (円)	—	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	19.5	10.8	△25.6	44.8	8.0
純資産総額 (百万円)	227	74	30	14	30	19

当ファンドの運用の基本方針に適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数を特定しておりません。

### 5 投資環境

---

#### CB市場

当作成期のCB市場は上昇しました。世界景気に対する楽観的な見方や米税制改革への期待などから投資家のリスク選好が強まり、当作成期のCB市場は上昇して始まりました。2018年2月以降は、米長期金利上昇が嫌気されたことや、米中貿易摩擦に対する懸念が強まったことなどから世界的な株式市場の調整とともにCB市場も下落に転じましたが、当作成期末にかけては、米中双方の歩み寄りから貿易摩擦に対する過度な懸念が後退し、持ち直す動きとなりました。

#### 為替市場

当作成期の南アフリカランドは対円で上昇しました。当作成期初、与党アフリカ民族会議の新議長に改革派のラマポーザ副大統領が選ばれると、南アフリカランドは急騰しました。その後は一進一退の動きとなりましたが、当作成期末にかけて、経済指標が市場予想比で低調であったことなどから下落傾向となりました。

### 6 当ファンドのポートフォリオ

---

#### ○当ファンド

「SMTグローバルCBファンドー南アフリカランドクラス」への投資を高位に保つ運用を行いました。

#### ・SMT グローバルCBファンドー南アフリカランドクラス

日本や新興国を含む世界の企業が発行するCB等の中から、流動性、発行体リスクなどを考慮して、銘柄選択を行いました。米ドル建以外のCB等へ投資した場合、対米ドルでの為替取引を行いました。その上で、原則として、米ドル売り、南アフリカランド買いの為替取引を行いました。

<投資対象ファンドについては、運用会社からの情報に基づき掲載しています。>

## 運用経過の説明

### 7 当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの運用の基本方針に適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数を特定しておりません。

### 8 分配金

分配金額は、各期ごとの経費控除後の利子・配当等収益、基準価額水準等を考慮して以下の通りとさせていただきます。

なお、収益分配に充てず信託財産内に留保した利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

(1万口当たり・税引前)

項目	第73期	第74期	第75期	第76期	第77期	第78期
	2017年12月12日~ 2018年1月10日	2018年1月11日~ 2018年2月13日	2018年2月14日~ 2018年3月12日	2018年3月13日~ 2018年4月10日	2018年4月11日~ 2018年5月10日	2018年5月11日~ 2018年6月11日
当期分配金 (円)	100	100	100	100	100	100
(対基準価額比率) (%)	(0.928)	(0.967)	(0.936)	(0.981)	(0.988)	(1.026)
当期の収益 (円)	100	100	100	80	80	66
当期の収益以外 (円)	—	—	—	19	19	33
翌期繰越分配対象額 (円)	3,212	3,242	3,251	3,231	3,212	3,178

(注1)「当期の収益」及び「当期の収益以外」は、円未満を切り捨てて表示していることから、合計した額が「当期分配金」と一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3) —印は該当がないことを示します。

## 今後の運用方針

---

### ○当ファンド

「SMT グローバルCBファンドー南アフリカランドクラス」への投資を通じ、主として、日本や新興国を含む世界の企業が発行する転換社債(CB)等へ実質的に投資します。

#### ・SMT グローバルCBファンドー南アフリカランドクラス

主に日本や新興国を含む世界の企業が発行する転換社債等へ投資し、投資信託財産の中長期的な成長をはかることを目的として運用を行います。

転換社債等の組入比率は、原則として高位を維持することを基本とします。

米ドル建て以外の転換社債等へ投資した場合、原則として対米ドルでの為替取引を行います。その上で、外国為替予約取引、為替先物取引等を活用し、原則として、米ドル売り、南アフリカランド買いの為替取引を行います。

#### ・短期金融資産 マザーファンド

わが国の短期金融資産等(短期公社債および短期金融商品を含みます。)を中心に投資を行い、わが国の無担保コール翌日物金利の累積投資収益率を上回る運用成果をめざします。

## お知らせ

---

該当事項はありません。

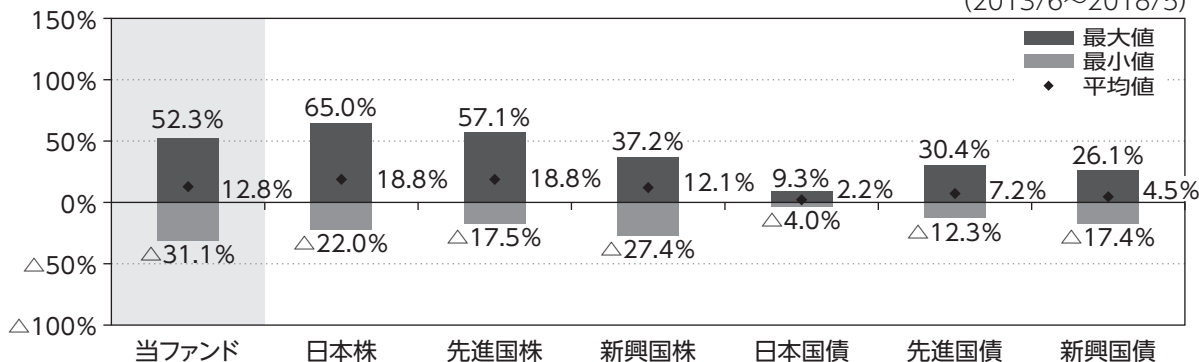
## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／債券
信託期間	信託期間は2011年12月28日から2021年12月10日までです。
運用方針	主として、円建外国投資信託受益証券である「SMT グローバルCBファンド－南アフリカランドクラス」を通じて日本や新興国を含む世界の企業が発行する転換社債(CB)等に投資し、投資信託財産の中長期的成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	以下の投資信託証券を主要投資対象とします。 1.SMT グローバルCBファンド－南アフリカランドクラス 2.短期金融資産 マザーファンド
運用方法	「SMT グローバルCBファンド－南アフリカランドクラス」への投資を通じ、主として、日本や新興国を含む世界の企業が発行する転換社債(CB)等へ実質的に投資します。 また、米ドル売り、南アフリカランド買いの為替取引を行います。
分配方針	原則として、毎月10日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、収益の分配を目指します。 分配対象額は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益及び売買益(評価益を含みます。)の全額とします。 分配金額については、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。



## 代表的な資産クラスとの騰落率の比較

(2013/6~2018/5)



(注1)2013年6月~2018年5月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンド及び他の代表的な資産クラスについて表示したものであり、決算日に対応した数値とは異なります。

(注2)当ファンドの年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算した年間騰落率が記載されていますので、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

(注3)各資産クラスの指数

日本株・・・TOPIX(東証株価指数、配当込み)<sup>\*1</sup>

先進国株・・・MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円ベース)<sup>\*2</sup>

新興国株・・・MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)<sup>\*3</sup>

日本国債・・・NOMURA-BPI国債<sup>\*4</sup>

先進国債・・・FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)<sup>\*5</sup>

新興国債・・・JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド(円ベース)<sup>\*6</sup>

海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベース指数を使用しております。

※全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

※1 TOPIX(東証株価指数)とは、株式会社東京証券取引所(以下「東証」)が算出、公表する指数で、東京証券取引所市場第一部に上場している内国普通株式全銘柄を対象とした時価総額加重型の株価指数です。「配当込み」指数は、配当収益を考慮して算出した株価指数です。同指数は、東証の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関する全ての権利は、東証が有しています。なお、東証は、ファンドの設定又は売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません。

※2 MSCIコクサイ・インデックスとは、MSCI Inc.が開発した日本を除く世界の主要国の株式市場の動きを表す株価指数で、株式時価総額をベースに算出されます。また「配当込み」指数は、配当収益を考慮して算出した株価指数です。同指数に関する著作権等の知的財産権及びその他の一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は同指数の内容を変更する権利及び公表を停止する権利を有しています。

※3 MSCIエマージング・マーケット・インデックスとは、MSCI Inc.が開発した世界の新興国株式市場の動きを表す株価指数で、株式時価総額をベースに算出されます。また「配当込み」指数は、配当収益を考慮して算出した株価指数です。同指数に関する著作権等の知的財産権及びその他の一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は同指数の内容を変更する権利及び公表を停止する権利を有しています。

※4 NOMURA-BPI国債とは、野村證券株式会社が公表する、国内で発行された公募固定利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスを基に計算されます。同指数の知的財産権は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社が、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、同指数を用いて行われる当社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。

※5 FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

※6 本指数は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2014, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

## 当ファンドのデータ

### 1 当ファンドの組入資産の内容

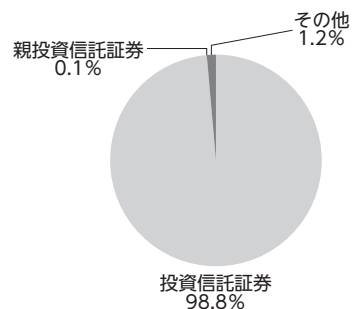
#### ○組入ファンド

	当作成期末
	2018年6月11日
SMT グローバルCBファンドー南アフリカランドクラス	98.8%
短期金融資産 マザーファンド	0.1%
その他	1.2%
組入ファンド数	2

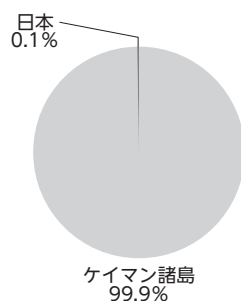
(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

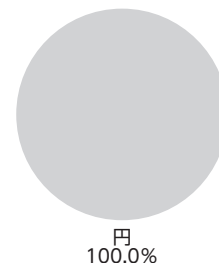
#### ○資産別配分



#### ○国別配分



#### ○通貨別配分



(注) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合、国別配分の比率は組入証券評価額に対する評価額の割合です。

### 2 純資産等

項目	第73期末	第74期末	第75期末	第76期末	第77期末	第78期末
	2018年1月10日	2018年2月13日	2018年3月12日	2018年4月10日	2018年5月10日	2018年6月11日
純資産総額	23,265,718円	22,056,017円	22,844,838円	21,811,319円	21,674,488円	19,868,834円
受益権総口数	21,797,861口	21,543,423口	21,578,115口	21,611,827口	21,628,047口	20,603,956口
1万口当たり基準価額	10,673円	10,238円	10,587円	10,092円	10,021円	9,643円

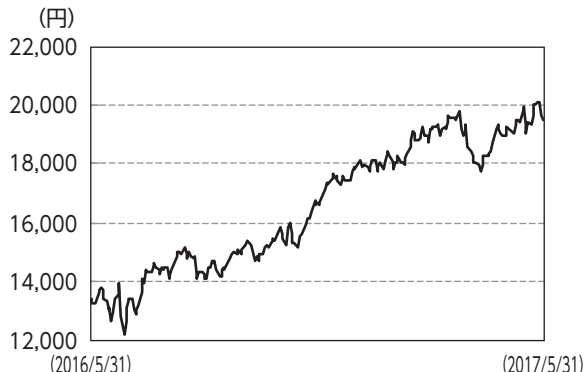
※当作成期間(第73期～第78期)中における追加設定元本額は209,299円、同解約元本額は2,702,269円です。

## 当ファンドのデータ

### 3 組入ファンドの概要

#### SMT グローバルCBファンド－南アフリカランドクラス

##### ○基準価額の推移



(注) グラフの基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものと当社が別途計算したものです。

##### ○上位10銘柄

順位	銘柄名	国	組入比率
1	Wells Fargo / Wachovia \$75 Perp	アメリカ	2.0%
2	Time Warner (Reliant Energy) var 2029	アメリカ	1.7%
3	ON Semiconductor 1% 2020	アメリカ	1.6%
4	Liberty Media Basket 1.375% 2023	アメリカ	1.4%
5	Priceline Group 1% 2018	アメリカ	1.4%
6	S&P 500 Total(JP)0% 2020	アメリカ	1.4%

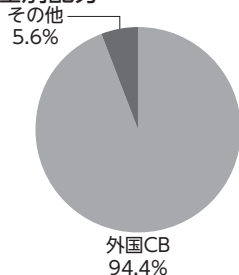
##### ○1万口当たりの費用明細

当該情報が取得できないため記載しておりません。

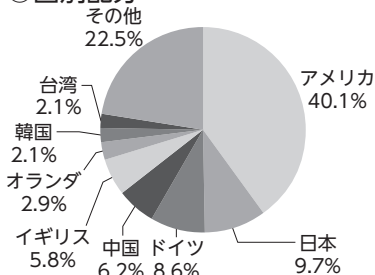
順位	銘柄名	国	組入比率
7	UniCredit (Aabar) 1% 2022	イタリア	1.4%
8	Mondelez Intl(JPM) 0% 2018	アメリカ	1.4%
9	S&P 500 Total(SG) 0% 2019	アメリカ	1.3%
10	Shenzhou International Group 0.5% 2019	中国	1.3%
組入銘柄数			120

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

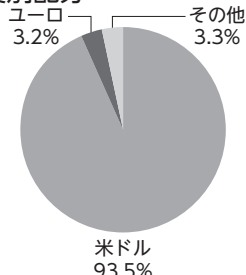
##### ○資産別配分



##### ○国別配分



##### ○通貨別配分



(注1) 上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは2017年5月31日現在のものです。

(注2) 1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の決算期のものです。費用項目の概要等については「運用経過の説明 1万口当たりの費用明細」をご参照ください。

(注3) 資産別・国別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

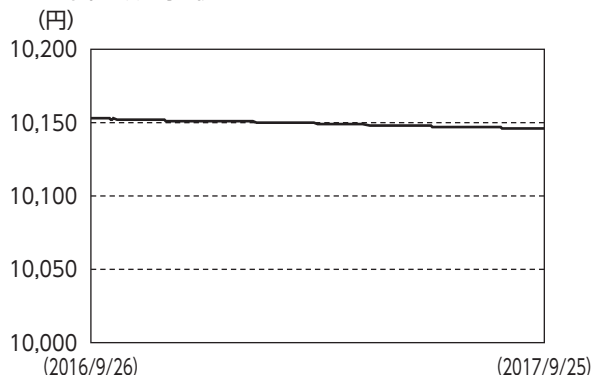
※上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは実質投資先であるSMT グローバルCBファンド全体の内容を記載しています。  
※当該ファンドの運用会社からの情報に基づき掲載しています。

## 当ファンドのデータ

### 3 組入ファンドの概要

#### 短期金融資産 マザーファンド

##### ○基準価額の推移



##### ○上位10銘柄

順位	銘柄名	国	組入比率
1	第311回中国電力株式会社社債	日本	1.3%
2	第414回中部電力株式会社社債	日本	1.3%
3	第485回中部電力株式会社社債	日本	1.3%
4	———	—	—
5	———	—	—
6	———	—	—

##### ○1万口当たりの費用明細

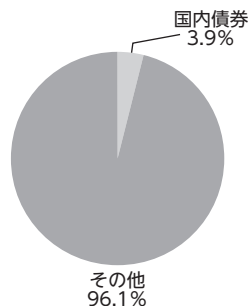
(2016年9月27日~2017年9月25日)

項目	
(a) その他費用 (その他)	0円 (0)
合計	0

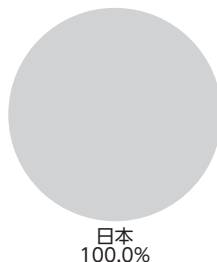
順位	銘柄名	国	組入比率
7	———	—	—
8	———	—	—
9	———	—	—
10	———	—	—
組入銘柄数			3

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

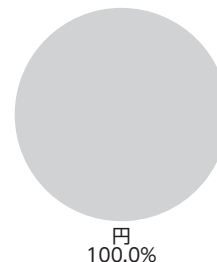
##### ○資産別配分



##### ○国別配分



##### ○通貨別配分



(注1) 上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは2017年9月25日現在のものです。

(注2) 1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の決算期のものです。費用項目の概要等については「運用経過の説明 1万口当たりの費用明細」をご参照ください。

(注3) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合、国別配分の比率は組入証券評価額に対する評価額の割合です。